

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1090 号	氏名	木寺 健一
学位審査委員	主査 弦本 敏行 副査 沖田 実 副査 小関 弘展		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、2D/3D registration 法を用いて、前十字靭帯損傷膝に対する二重束靭帯再建術の有用性を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 上記手法を用いて、二重束前十字靭帯再建術を施行した成人男性患者 10 名の術前・術後のスクワット動作に伴う膝関節動態を記録し、脛骨の前後方向の移動および回旋角度を定量して統計学的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、二重束前十字靭帯再建術後においては、脛骨の前後方向のみならず回旋方向の不安定性が改善されることを明らかにした。今後の膝関節外科学への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は整形外科科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			